

令和7年度全国学力・学習状況調査の結果を踏まえた指導方法等の改善計画の策定及び活用

東広島市立三ツ城小学校

1 本校の状況

【平均正答率の比較】

	国語 (%)	算数 (%)	理科 (%)
三ツ城小学校	78	67	67
広島県	69	59	59
全国	67	58	57

本校の平均正答率は、3教科ともは全国及び県の平均正答率より上回っている。しかし、分析の結果、各教科とも成果とともに課題も見られた。

各教科の分析結果等の詳細については以下に示すとおりである。

2 各教科の分析結果と改善のための方策（○成果、●課題、→対策、◇改善計画）

【国語】

○全ての問題において、正答率が県平均・全国平均を上回ることができた。

○時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えることができた。

●目的や意図に応じて、必要な情報を分類・関係付けることに課題が残った。

●目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付ける問題では、問題文を読んで正しい情報を選ぶことができず、65.4%しか正答していなかった。

→「話す・聞く活動」において、相手や目的に応じて必要な資料を用いながら表現を工夫する活動を行う。

→「読む」「書く」活動において、複数の資料を読み比べながら自分の考えをまとめる活動を行う。

【算数】

○全ての問題において、正答率が県平均・全国平均を上回ることができた。

○記述式の回答は、最後まで粘り強く自分の考えを表現し、正答に近い文章まで書くことができた。

●思考・判断・表現の文章問題について、算数用語を用いながら正しく説明することができていなかった。

●多くの情報の中から、必要なものを取捨選択するなど、情報を整理する力に課題が見られた。

→算数用語を使った説明力を身に付けるために、授業の中で説明を書いたり話したりする場を設ける。

→児童が情報を整理できるように、教師の発問を工夫する。

→国語など、他教科と関連付ける。

【理科】

○全ての問題において、正答率が県平均・全国平均を上回ることができた。

●用語の定着や事象についての理解に課題が見られた。

●問題文の読み取りが不十分で正しく解答することができていなかった。

→知識・技能を身に付けるために、ミライシードなどで基礎的・基本的な問題を繰り返す。

→単元末に学んだことと日常生活を結び付け、スライドにまとめる等、活動を工夫する。

→国語など、他教科と関連付けて考えることができるように、カリキュラムマネジメントの見直しをする。

→3年生から理科の用語の定着や事象の理解をさせる取組を進めていく。

【改善計画】

◇授業において、焦点化した課題を設定し、指導を行う。

◇タブレット等を活用した習熟学習を行い、個に応じた基礎的な学力の確実な定着を図る。また、付けたい力を焦点化した取組を行う。

◇単元別テストで、個々の学力定着について把握し、指導方法の改善に生かす。

◇CRTを活用して、1年間の学力向上に向けた取組を検証し、中学校と連携を図った継続的な取組を進める。

3 児童質問紙【児童実態】の調査の結果と改善のための方策

【学習状況（生活実態）調査の結果】（「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」合計%）（抜粋）

		三ツ城小	広島県	全国
1	朝食を毎日食べている。	94.5	93.3	93.7
2	学校の授業時間以外に、平日の1日2時間以上PC・タブレット等のICT機器を勉強のために使っている。	6.5	8.4	8.6
3	いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う。	98.1	97.9	97.2
4	困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる。	83.3	74.1	70.6
5	人の役に立つ人間になりたいと思う。	99.1	96.9	96.4
6	あなたの家にはおよそどれくらい本がありますか。（100冊以上）	35.3	30.0	30.9
7	5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて自分で考え、自分から取り組んでいる。	88.0	80.7	80.3
8	5年生までに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていた。	76.9	78.4	77.8
9	先生は、授業やテストで間違えたところや理解していないところについて、分かるまで教えてくれている。	94.4	89.7	87.4
10	あなたの学級では、学級生活をよりよくするために、学級会で話し合い、互いのよさを生かして解決方法を決めている。	83.4	83.5	83.3
11	道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる。	88.9	89.8	88.0
12	国語の勉強は好きである。	62.0	59.0	58.3
13	算数の授業は好きである。	58.3	58.0	57.9
14	理科の授業は好きである。	78.7	79.3	80.1

【結果の分析と改善のための方策】

○朝食を毎日食べていると回答した児童は、広島県平均、全国平均より多い。

●タブレットを勉強に1日2時間以上活用していると回答した児童は、広島県平均、全国平均より少ない。

○課題解決に主体的に取り組むと答えた児童が93.2%と多く、自分の考えをまとめる活動も各教科の授業の中で経験したと回答した児童が県・全国平均より多い。

○困りごとや不安な気持ちを学校の教職員にいつでも相談すると回答した児童は、県・全国平均と比べて多い。

→朝食を毎日食べると答える児童を100%にするために、養護教諭と連携をとって保健指導を行うとともに、保健だよりを活用して保護者に啓発する。

→ドリル問題の配信や、インターネットを活用して調べ学習をするようにする等学習の内容を工夫し、ICT端末を学習で活用できるようにする。

→学年部を中心に全ての教職員で全ての児童に対応する組織の構築と充実を目指した取組を推進する。

→いじめはどんな理由があってもいけないことだと全ての児童が理解できるように、道徳や学級活動の時間等を利用して学級全体で考えて児童が意見を交流する時間をもつ。また、いじめゼロ宣言をいつでも確認し、実践していく。